

2024

85号

令和6年
7月1日発行

ぬくもり

住みごこち一番・可児——～すこやかに、にぎやかに、おだやかに暮らせるまち～

忘れられない夏…

ぎふワールド・ローズガーデン

かつては社会生活の中で看過されたいた行為などが、人権の問題として顕在化しています。ハラスメントなどの被害を受ける人の心情は、過去も現在も同様であり、基本的な人権を尊重する概念が、より広く社会に浸透してきた証左とも捉える事ができます。

市と人権啓発センターが協働で行った人権意識調査では、「人権の尊重」について、身近に感じているか、との問い合わせに対し、「非常に身近に感じている」と「少し身近に感じている」の合計が、平成26年度には、45.0%であったものが、令和4年度には、52.9%と7.9ポイントの伸びを示しており、本市においての人権意識の高まりについても伺い知ることができます。

昨年度、市は「第4期可児市人権施策推進指針」を策定しました。人権に関する教育や人権啓発の推進など、この指針を基に人権啓発センターをはじめとする関係機関との連携を図りながら、多様化する人権問題の解消に向けた啓発など、総合的に取り組んで参ります。

「人権」が正しく理解され、「一人一人が尊重される社会」を目指して。

可児市市民文化部長
飯田好晴

可児市市民文化部長

飯田好晴

検索

本
次
号

可児ぬくもりネット
アドレス <https://www.kani-nukumorinet.jp/>

発行

可児市人権啓発センター(可児市総合会館2F)
〒509-0214 可児市広見1-5 TEL/FAX 0574(63)7990

令和5年度活動報告

機関紙(ぬくもり) (全戸配布・年3回)



人権マンガ「ぬくもりみゅちゃん」入り

ホームページ



継続発信

学校・企業啓発・勉強会



人権教育サポート

人権相談



人権マンガ展示 人権フェスティバル in ぎふ



椎子地区センター 人権マンガ展

1万人啓発目標
達成!

啓発人口
12,347名

ぬくもり標語・300字小説募集



応募総数：2,912点

子どもぬくもり教室



“相手への思いやりの心”を大切に!
開催校：東明小学校・南帷子小学校

人権本巡回制度 (ぬくもりブックス・フロー)

- ぬくもり本(人権本)を巡回
- 児童用(70冊)
- 1ヶ月毎に巡回



街頭啓発活動



人権週間(12月4日～10日)



令和6年度の活動計画

市民への広報・啓発活動を行い、人権尊重の理念を深めていく活動を展開していきます。

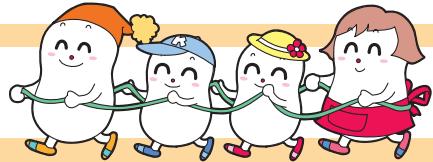
目標 啓発人口: 10,000名／年

重点 持続可能な開発目標(SDGs)

「誰一人取り残さない」ことを誓って！
「子どもと全ての世代の人への人権の取り組み」

特集

仕事と人権



人権とは、誰もが生まれながら持っている幸せに生きる権利です。

人は周りの人とつながりの中で生きています。仕事をする上でも、職場で共に働く人、取引先、消費者、地域の人々と間接的につながっており、全ての人に人権があり、仕事をする上で深いかかわりがあります。

国際的には

企業が人権を尊重すべき重要性は、国際的にも浸透しています。

例えば、2011(平成23)年6月の国連で策定された「**ビジネスと人権に関する指導原則**」では世界中の企業や団体は、人権について率先して対応していくことが求められています。

人権に関する取り組みが充実すると

- ・職場環境が良好になれば、働く意欲が増加し、コミュニケーションが活発になります。
- ・様々なアイデア等の意見交換ができ、新しい価値が創造され、結果的に①売上増加②株価上昇③採用競争力の強化につながり、企業の利益の増加になることが分かってきました。



職場での

人権問題

考えてみよう…働きやすい職場環境を築くと、大きな成果を上げることにつながります。

セクシャル・ハラスメント(セクハラ)

職場において、性的な冗談やからかい、身体への不必要的接触など意に反する性的な言動が行われ、拒否した時に不利益を受けたり、職場の環境が不快なものになったりすること等



男性 ⇄ 女性



女性 ⇄ 女性



男性 ⇄ 男性



- ・相手の意に反した性的な言動は、セクハラです。

パワー・ハラスメント(パワハラ)

同じ職場で働く者に対して、業務の適正な範囲を超えて、精神的・身体的苦痛を与えること等



上司 ⇄ 部下



先輩 ⇄ 後輩



同僚 ⇄ 同僚



- ・上司から部下だけではなく、同僚間等でも行われることもあります。
- ・いきすぎた指導にならないよう、普段からのコミュニケーションが大切です。

マタニティ・ハラスメント(マタハラ)

妊娠、出産、育児を理由としたハラスメント等

職場のハラスメント対策は事業主の義務です!!

- ・職場環境が悪化すれば、従業員が仕事の意欲を失い、企業にとっても不利益が生じます。
- ・相談体制を整えていくことは、企業の健全な成長につながります。
- ・一人一人の人権意識を高めて、ハラスメントを許さない取り組みの積み重ねが必要です。

職場での
ハラスメント相談

岐阜労働局 雇用環境・均等室 TEL 058-245-1550

受付時間 8時30分～17時15分（土・日・祝日・年末年始を除く）

心のドア ちょっといい話



「花いっぱい運動」

ぬくもりまゆちゃん 45

〈生き物を大切にする心〉
作・画: miho



(当センター事務局長による作品です)

可児市では昭和59年より、毎年春と秋の2回、花いっぱい運動が実施されてきました。自治会や子ども会、子どもたちも参加し、広く市民の方々が市内清掃や花の苗植えを行い、市内美化に努める取り組みです。

今年も5月の花いっぱい運動に参加した時の話です。

今年は保育園年長の孫娘が一緒に参加しました。内心、近所の方の邪魔になるかなと心配していましたが、そんな私の思いなど露知らず、草を集めているのか、はたまた散らかしているのか分からない篠捌ぎで、大人ぶって意気揚々と清掃に励んでいました。

清掃活動の終わりに、孫娘へのお手伝いのご褒美として、サルビアの苗を頂きました。帰宅早々、一緒に庭に植えました。水をあげる姿が随分誇らしげで、ついつい口元が綻びました。

開花が待ち遠しいです。



(I・K)

募
集

「標語・300字小説 ぬくもり人権啓発」

第24回

- **テーマ**
道徳的な「感謝・希望・勇気・友情」の大切さ、尊さについて
- * 小説は題名、会話を入れること
- **応募資格**
市内在住の人（小中高生）（一般）
- **応募方法**
はがきの表に住所・氏名・電話、裏に作品（小説1点、標語2点まで）
- **応募締切**
9月2日（消印有効）
- **入賞作品数**
標語30点・小説7点
- **入賞発表**
11月初旬本人通知（小中学生は、学校から）
- **作品展示**
(入賞作品)
人権週間前後（11月15日～12月13日）に市図書館で展示。また機関紙「ぬくもり」等に掲載
- * 入賞者には、表彰状と図書カードを贈呈
- * 小中学生は学校を通して応募してください。
- **あて先**
本センター宛（本表紙ご参照）

募
集

人権講演会

テーマ 自分の人生の舵は最期まで自分でとる！

講 師 菜袋淳子氏・立木純子氏（岐阜医療科学大学教授）

期 日 令和6年12月7日（土）

場 所 可児市福祉センター（大ホール）



* 詳細は機関紙11月号にて

「啓発のひかり」

★ 本センターは、地域から推薦された推進員と共に活動をしています。先輩方の人生経験も豊富で生き生きとした姿は、大切なことを教えてくれています。高齢になつて打ち込める趣味があるのは素敵ですが、「社会貢献できた」「人の役に立てた」と実感できた時、生きがいが生まれるでしょう。様々な物の見方や考え方をする人達から謙虚に学ぶことは自分の人間的成长のためには大切なことといえるでしょう。

★ 「仁」は人に思いやりをもつこと、「孝」は親を大切にすること、「悌」はきょうだいを大切にすること。中国の思想家「孔子」は、家族が思い合つたままでは身近にいる人に感謝の気持ちを伝えなければいけませんね。（Y・M）

★ 「人をほめる」と言う事はいいですね。「上手ですね」「すごいですね」ではなく、「あなたのお詫びがないところはすごいね」というように具体的に褒められれば、「これからも頑張ろう」と思えるのではないかでしょうか。こういう事が「思いやり」「お互いの違いを認め合う」というように繋がるようになります。（H・R）